

# アイリス Letter

## 保護者の皆様へ

2023年4月28日発行  
第1号  
広島女学院中学高等学校



### 聖書のことば

わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

エレミヤ書 29章11節

4月7日に中学入学礼拝、8日に中学始業礼拝・高校入学始業礼拝が行われ、2023年度が始まりました。中1生の点呼に返事する元気な声がホールに響き、一人ひとりのこれから始まる6年間の歩みを思い、喜びと感謝で胸がいっぱいになりました。中2から高3の生徒の皆さんは進級し、新しい歩みを勇気をもって始めたことと思います。

今年度は、3年間続いたコロナ禍の影響も少なくなり、様々な学校行事が予定通り行うことができそうです。体育大会はG7サミットの影響で5月から6月の実施に変わりますが、グリーンアリーナで、昨年以上に身も心も踊り、喜ぶときとしたいと思います。

4月の最終週となり、学年の遠足、合宿が晴天の下行われました。友達や先生との交わりするとき、豊かなものとなったことでしょう。中1・高1での合宿では、自分の周りの人との関りを深く考えたり、これからの自分の歩みを真剣に考える時間にもなったと思います。

新年度は決意を新たにす時期でもあり、目標に向かってよいスタートが切れるように励むことも多いため、順風満帆のように進んでいるように感じることもあるでしょう。一方で、時として災いと思われることも与えられることがあります。それはいつでも誰にでも与えられることであり、自分の努力や存在が否定されるものではありません。旧約聖書のエレミヤ書には、「災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」と書かれています。恐れ揺らぐときにも、「恐れることはない」と言ってくれるイエス・キリストのことばを信頼し、進みましょう。

(校長)



## イースター特別礼拝

「イースター（復活祭）」は、クリスマスとならぶキリスト教の大切な記念日です。私たちの救いのために、自分を犠牲にして十字架で亡くなったイエス・キリストが「復活」されたことをお祝いします。太陰暦で定められたため毎年変動しますが、今年は4月9日（日）でした。

本校では4月15日（土）に広島福音教会の加藤久美子先生をお迎えして、イースター特別礼拝の時間を持ちました。中学・高校共にヨハネによる福音書21章1節～6節をもとに「船の右側に：復活のイエス様の語りかけ・新しいいのちに生きる」と題し、説教をしてくださいました。

中学の礼拝では、復活したイエス様とお弟子さんとの出会いの場面に着目し、人間の価値観・知性を超越した「出会いの力」やそうした出会いによって生まれる新たな歩みについて、先生自らのご経験に基づきお話されました。さらに、手話を用いて「共に生きる意味」や「共感すること」の意味について語られ、「この女学院の一人おひとりが、神様の御計画の中での愛されるべき存在・命であることを忘れないように」と伝えてくださいました。

高校の礼拝では、弟子たちは漁師としてのプライドよりも、復活したイエスの言葉に聞き従い、舟の右側に信仰の網をおろすことで多くの魚が採れたという聖書箇所を通して、「今までの歩みの中で神様やイエス様が共にいてくださることを信じたからこそ、人と出会うことの喜びを見出した」というご自身の体験を語られました。私たちも聖書の言葉に力づけられながら、様々な人と出会い、恐れずにチャレンジをしていきたいものです。

(宗教教育委員会)



## 生徒支援部より

新しい年度が始まりました。既に年度初めに「学校生活の手引きの確認」や「SNSに関する学校方針」を配信していますので、各ご家庭で必ずご確認ください。

また、4月18日（火）には例年通り大阪総合教育支援研究所の原田孝先生をお招きして、新中1の保護者の方を対象に『中高生の育ちを支える家庭の役割』と題して講演していただきました。思春期は自分を守る「外枠」がなくなる時期であり心が過敏となること、それゆえ自分をストレスから守る「外枠」が必要となること、「外枠」の例として「学力」・「運動能力」・「芸術」・「リーダーシップ」、その他「自分が得意・好きだと思えるもの」を見つけていくことが大切なのだと学びました。また、この時期の家庭の役割として、子どもたちのエネルギーが切れていないのかの見定めや、大人の見本としての存在であることの重要性も指摘されました。

さて、近年の生徒の特徴として、SNSの普及に伴ってなのか、生徒間のコミュニケーションの有り様が変わってきたと感じます。SNS上の書き言葉のみのやりとりから来るすれ違いや、対面コミュニケーションを苦手とする生徒が増えてきています。相手に真意を確認せずに、ネガティブな想像ばかりが先行してしまうこともあります。互いに敬意をもてる関係をどう作っていくのか、ご家庭でもお話していただければと思います。

4月～5月は新しい生活のスタートであり、生活環境の変化が大きな時期です。どうしても心身の疲れがたまりやすくなりますので、ご家庭でもお声かけ等の配慮を宜しくお願い致します。

(生徒支援部)

## 第2回探求フェス

2023年3月15日(水)、第2回探求フェスが行われました。開会式では、清教学園中・高等学校教諭であり、図書館振興財団教育支援室を兼務されている片岡則夫氏に講演していただきました。中3より上の学年の生徒は、片岡氏の共著『中学生からの論文入門』を参考に探究活動を行っています。片岡氏は清教学園での探究活動の事例を紹介されながら、探究で大事なポイントをお話してくださいました。「自分の興味を大切に探究を行うことが、自分の未来を招く」との言葉から、生徒はこれまでの自分の探究を振り返り、これから行う探究への希望を見出していました。

その後、各学年の代表者による発表が行われました。昨年度は午前だけの発表でしたが、今年は午後も開催することにより、生徒は自分の興味に合致した発表をより多く見に行くことができました。

中1は碑めぐり案内のライド発表を教室で、ヨーロッパ調べとミョウバン結晶作成のポスター発表を体育館1階で行いました。中2は体育館2階で、原爆観や理科自由研究のポスター発表を行い、国語や歴史で行った探究活動の作品展示も行いました。中3は中学校での学びのまとめとして取り組んだ卒業論文と、理科自由研究のライド発表を行いました。自由研究では広島市科学賞に入選した生徒の発表もありました。

高校生は自分が関心のある社会問題や、進路に合わせ、中学生より自由度の高い探究活動を行い、その成果を個人やグループでライドを使って発表しました。高校生の発表は平和や人権、環境問題のようなテーマだけでなく、オタクやディズニーなどサブカルチャーをテーマとした探究もあり、中学生の聴講者もたくさんいました。自分の興味あることを探究しているからこそ、発表者も生き生きと発表し、聴衆を魅了していました。

2回目の開催を終え、改善すべきことはまだあるものの、発表する生徒にとってもそれを聞く生徒にとっても学びの多い時間であることを実感しました。反省や意見をもとに、よりよい第3回を開催できるよう、新年度での取り組みを深化させようと思います。

(探究活動推進委員会委員長)



## 春休み GEC 活動報告 (海外研修)

3月中旬から4月上旬にかけて、様々な海外研修が3年ぶりに実施されました。コロナ禍での海外渡航は不安や心配も多くあったと思いますが、参加生徒・保護者の皆さまのご協力により、無事に実施できましたことに改めて感謝申し上げます。

それぞれの研修の内容につきましては、本校ウェブサイトの『今日の女学院』またはこれから発行される予定の学院報をご覧ください。



3月15日(水)～22日(水)	カケハシ・プロジェクト(ニューヨーク)	高1・高2	9名
3月22日(水)～4月3日(月)	マウントユニオン大学研修	中3・高1	10名
3月25日(土)～31日(金)	カンボジア研修	中3・高1	17名
4月1日(土)～6日(木)	ハワイ研修	GI高2	16名

(グローバル教育推進部部长)

## 生徒会春の公演

### ①高校音楽部

桜の花びら舞う4月2日(日)、ゲーンズホールにて第39回高校音楽部演奏会を行いました。部員7名と少ない人数ですが、それを感じさせないパワフルなステージを繰り広げました。宗教曲のステージでは、昨年度の3学期から力を貸してくれている中3生(新高1)と共に、詩編に基づくテキストの作品を3曲演奏しました。最後は、「宝島」と「主イエスは、わが羊飼ひ」をOGの皆さんと星野先生の指揮で演奏し、幕を閉じました。変わらないものと新しく作るものを大切にしながら、今年も音楽部の歴史に新たなページを加えられたことを嬉しく思っています。

多くの方々にご来場いただいたこと、演奏会を行うにあたってアナウンスや照明、受付など生徒たちの協力を頂いたことに心から感謝します。ありがとうございました。

(音楽部顧問)

### ②高校ダンス部

4月11日(火)の放課後、ゲーンズホールにて高校ダンス部春の公演が行われました。「Shine on!」をテーマに、16名のダンサーと5名の照明・音響担当のスタッフが協力して、コーチの指導の下、ステージをつくりあげました。K-POP中心の演目で、皆さんが知っている曲も多く、楽しんでいただけたのではと思います。高3は5名という少ない人数で、11名の高1をしっかりリードしてくれました。コーチの振り付けによる最後の曲は、これまでの2年間に思いをはせながら、とても良い表情で踊りきることができました。高3はこの公演で引退となり、高2・高1による新しいダンス部がスタートします。平日にもかかわらず、多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。(高校ダンス部顧問)



### ③高校オーケストラ同好会

4月15日（土）、ゲーンズホールで春の公演会を行いました。クラシック作品として、カプリオール組曲（P. ウォーロック作曲）、愛の挨拶／ヴィオラ五重奏（E. エルガー作曲）、ポップスではうらかな春の日にぴったりな「ハナミズキ」や「さくら」、「残響散歌」、「Subtitle」、「アスノヨゾラ哨戒班」、またチェロ二重奏による「スターウォーズ・メインテーマ」、計8曲を50分にわたり演奏しました。

ここ3年で部員が増え、今回はヴァイオリン4名、ヴィオラ4名、チェロ2名の編成でした。学年別では高3が8名、高2が3名です。高3はこれが最後の演奏会となりました。ほとんどの生徒が高校に入学して初めて弦楽器を手にしますが、毎日放課後に地道な基礎練習に励み、様々なジャンルの曲にチャレンジしました。3人のコーチの先生方のご指導のもと、各パートで研鑽し合って充実した演奏会となりました。支えて下さった皆さま、ありがとうございました。（オーケストラ同好会顧問）

### 保健室だより（1）

新しい学年がスタートしました。お子さまたちが健康で安全な学校生活が送れますよう、心から願っています。

さて、健康診断が始まっています。体の成長や学校生活に支障をきたしていないかを確認してください。支障がある場合は、早めに対応されることをおすすめします。引き続き、内科・耳鼻科・眼科・歯科検診と続きます。要受診の人にのみ通知をいたしますので、ご了承ください。

「6（む）4（し）」にちなんで、6月4日からの1週間は「歯と口の健康週間」です。きちんと歯を磨く、食生活を整えるなどの生活習慣の変化はすぐに口腔に現れます。歯肉炎の変化は数日で現れます。むし歯や歯肉炎だけではなく、しっかり噛めない咀嚼機能不全、口がポカんと開いているための歯並びの悪さなども生活習慣と大きく関わっていることがわかっています。好きなものばかりではなく、噛み応えのある食材、ぶつ切りや乱切りなど大きめに切られたもの、歯ごたえを残し水分の少ない料理を取り入れるなど、一口30回以上噛んで食べることを考えた食事を心がけていただくと助かります。



本校では6月1日に歯科検診を行います。それまでの1ヶ月間、ご家族みなさんで歯磨きや噛むことに注目してみてください。（保健室）

### 心の健康（1）

人は誰でも新しい環境では気を使いながら過ごします。新学期は中1生から高3生まで、また先生や保護者にとって新しいことが多く、何かと気を使いストレスのかかる日々です。

昨年度もこのストレス（STRESS）を上手に解消していくヒントを頭文字にそってお知らせしました。新入生の保護者を歓迎して、もう1度、示しておきます。

- S-sport ・運動をしよう
- T-tree ・自然にふれよう
- R-relation ・人間関係を持とう
- E-eating ・食べることを大切にしよう
- S-sleeping ・睡眠を十分にとろう
- S-speaking ・おしゃべり、話し合おう

5月は休みが多く家族で過ごしやすいため、共にどれかを十分に実行して心の健康を保ちましょう。  
(カウンセラー)

## 保護者対象部活説明会

今年度も中学校部活動で、運動部・毎日活動する部を中心として、各部部員の保護者を対象に、活動内容等に関する説明会を開催します。時間・場所等の詳細については、後日各部顧問から生徒を通して連絡があります（「未定」の部も同様です）。

保護者の皆様はぜひご出席ください。

部活動	日時	場所
バレーボール部	5月27日(土)午後	体育館2Fと1-2
バスケットボール部	6月上旬	未定
卓球部	5月27日(土)午後	中学2階講義室
新体操部	7月末 演技発表会後	体育館2階と食堂
ソフトテニス部	5月13日(土)PTA総会終了約10分後 ※詳細な時間は後日連絡	未定
剣道部	5月13日(土)PTA総会終了約10分後 ※詳細な時間は後日連絡	剣道場
ソフトボール部	5月13日(土)PTA総会終了約10分後 ※詳細な時間は後日連絡	未定
放送部	5月15日(月)16:30～	第1AV
マンドリン部	6月3日(土)14:00～	中学2階講義室
吹奏楽部	6月17日(土)14:00～	高校2階201
演劇部	5月29日(月)16:45～17:45	中学2階講義室

(中学生徒会顧問)



## 教職員の動向

◇今年度の新任の先生は次の方々です。

《教員》

梅田 玲奈 (聖書)  
新谷 萌絵 (国語)  
吉田 有香 (養護)  
本多 美智子 (体育)

《講師》

刀祢館 美也子 (聖書)  
松岡 兪利 (地公)  
山下 陽子 (数学)  
長坂 誠 (美術)  
バッキューズ ソフィー (英語)

《技術職員》 西本 博美

◇4月1日付けで職員の異動がありました。

《事務長》 川口 早香美 《事務室》 片口 茜

○国語科の白濱翔太先生が3月21日に結婚されました。おめでとうございます。  
これから築かれるご家庭の上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。



### 今月の聖句

「わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物  
なのです。」  
コリントの信徒への手紙一 3章9節

女学院では新入生を迎え、2023年度新学期が始まりました。中学入学礼拝や新入生のオリエンテーションなど多方面において、学院聖句でもある上述の聖書箇所が用いられ、様々な話が語られました。翻訳によっては「神のために力を合わせて働く者」、または「神の同労者」とも表現されますが、聖書ではこのような者を「神の畑」「神の建物」に喩えています。

新約聖書の中では、「畑」を用いたイエス・キリストによるたとえ話が数多くあります。特に共観福音書（マタイ・マルコ・ルカ福音書）では、「この世」は「道端・石だらけ・茨のなか」にたとえられ、「畑」とは「実りの源や神様の御業の源」のことを指しています。

当時の社会的な状況を踏まえると、「畑」とは乳と蜜が流れる神様の約束の印、即ち祝福の印でした。そうした状況をふまえて上述の聖書箇所を読むと、初代校長であるゲーンズ先生の女学院に対する想いと願い、そして女学院に託されたゲーンズ先生の希望と夢が、まるで桜の花びらとなって女学院の上に舞っているようにも思えます。

女学院につらなるお一人おひとりが神様の畑であることは、女学院の源であるとも言えます。女学院という畑の中で、様々な実りを夢見ておられたゲーンズ先生の想いと祈りが今年度も私たちの礎となりますように。また私たち自身がゲーンズ先生の思いに心を寄せ、祝福の源として喜びを持って歩んでいけますように。

(聖書科 K)

## 5月の行事予定表

1	月	木曜授業
2	火	金曜授業
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	振替休日(4月8日(土))
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	[NC][EP]
11	木	中2内科検診(昼～6限)
12	金	高2内科検診(昼～6限) 尿検査最終
13	土	出校土曜日 (L・総) PTA総会(午後)学級懇談会
14	日	高3駿台全国模試(希望者)
15	月	
16	火	午前 特別プログラム(サーロー節子さん) 午後 土曜日1、2限授業 (L・総)
17	水	
18	木	自宅学習日
19	金	自宅学習日
20	土	振替休日(5月13日(土))
21	日	
22	月	自宅学習日
23	火	中間テスト(高2・3)
24	水	(中1・2・3・高1)高1各種テスト 1限8:55～15分休憩
25	木	1限8:55～15分休憩
26	金	1限8:55～15分休憩
27	土	(L・総)
28	日	高3進研マーク模試
29	月	
30	火	
31	水	[NC][EP]

NC・・・ノークラブデイ

※行事予定は変更になることがあります

